

「虹の鯉のぼりプロジェクト」を訪問しました。

大型連休2日目に当たる4月28日(日)10:00に、光市虹ヶ浜で行われた式典を訪ねました。JR光駅を降り、真っすぐ前の海浜に向かって歩くと、既に公園では、このイベントに合わせて開催されたマルシェで賑わっていました。

浜辺にたくさんの鯉のぼりが泳いでいる中、式典が行われ、光丘高校吹奏楽部の演奏、浅江小中学校おやじの会による虹の鯉のぼりプロジェクトについての説明、浅江中学校生徒「あさなえ Jr」による地域活動報告、光丘高校演劇部による演劇が行われました。式典の後は、鯉のぼりをバックに記念撮影し、お菓子撒きが行われました。



浜辺に泳いでいる多くの鯉のぼり。



「あさなえ Jr」による地域活動報告



虹の鯉のぼりプロジェクトについての説明



記念撮影風景

<虹の鯉のぼりプロジェクト>

2013年、光市立浅江中学校の生徒たちが、全国の中高生対象の防災研修「シンサイミライ学校交流～災間を生きる～」に参加したことが活動のきっかけでした。東日本大震災で被災した宮城県東松島市で行われている「青い鯉のぼりプロジェクト」に賛同し、地域を巻き込んで、青い鯉のぼりを集めて送りました。その活動の中で、青い鯉のぼり以外の真鯉、緋鯉の鯉のぼりを、活用できないかという話が持ち上がり、地元にある虹ヶ浜海岸の名前にもちなみ「虹の鯉のぼりプロジェクト」として、遠く離れているけど空も海もつながっている山口県光市虹ヶ浜からお父さんもお母さんも見守っているよという想いを込めて2014年からゴールデンウィークに鯉のぼりを掲揚するプロジェクトを開催しています。